

## 砂川市で働く人の産業別就業人口比率を見てみましょう。 それぞれの産業に、砂川らしい特徴があります。

### 砂川市の農業

水稲を中心に、トマト、ミニトマト、きゅうり、玉ねぎ、りんごの生産が好調で、評価が上がっています。2015年12月にはJA新すなごわ産特別栽培米ゆめぴりかが「第1回ゆめぴりかコンテスト」で最高金賞を受賞しました。

### 砂川市の製造業

砂川市には数多くの優れたものづくりをしている企業があり、さまざまな製品を開発・製造しています。アメニティ・タウンならではの環境と人に配慮した製品が、日本全国はもとより世界へも出荷されています。

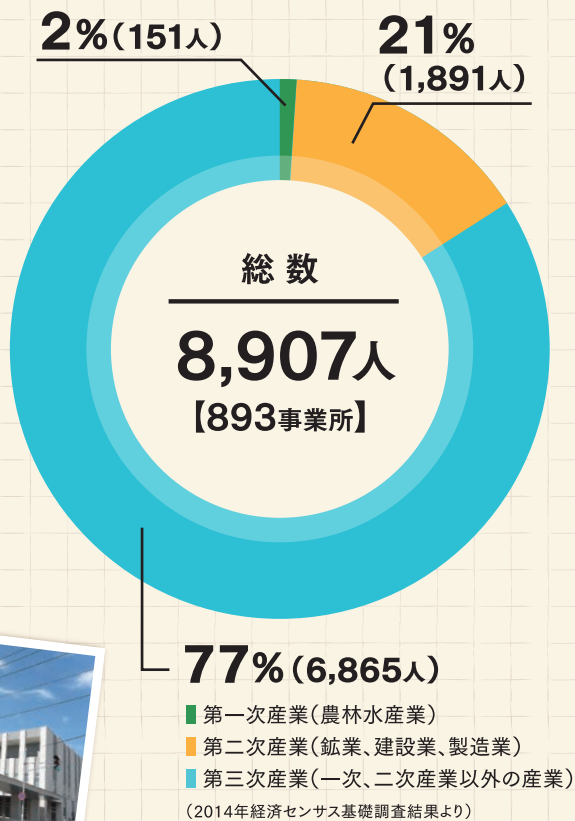
### 砂川市の医療

砂川市立病院は中空知最大の総合病院です。最新医療設備による患者さんの診療データは「砂川みまもりんく」により、市内の医療機関・介護事業所などで共有され、質の高い切れ目のないサービスの提供を行っています。

### 砂川市の歴史

かつて、未開の北海道を開拓するため、原始林に覆われた大地で岩見沢から忠別太(旭川)までの道路開削が始まり、明治23年「奈江村」ができました。これが砂川市の始まりです。明治24年には歌志内炭鉱の石炭を運び出すために岩見沢-砂川間、砂川-歌志内間に鉄道が開設し、砂川駅が設置されました。この頃から市街地ができて、商店・飲食店が増えたことで明治36年に砂川村となり、砂川町を経て昭和33年、砂川市になりました。

### 産業別事業所数・従業員数



## 砂川って? /

# 砂川市、基本の「き」。

砂川市は、札幌市と旭川市のほぼ中間に位置し、

東西10.5km、南北12.7km、総面積は78.68km<sup>2</sup>。

東部にはなだらかな丘陵地帯、西部には石狩川が流れ、肥沃な流域を形成しています。

交通網の利便性が良く、道内主要都市からのアクセスも快適です。

砂川市のそもそものお話を、ざっとおさらいしてみましょう!



### 1 | アメニティ・タウン

北海道初のアメニティ・タウン(快適環境都市)に指定され、「公園の中に都市がある、美しいまちづくり」を推進し、市民一人あたりの都市公園面積は、212.27m<sup>2</sup>(2015年3月現在)で日本一を誇ります。



### 2 | 便利な交通網

街の中心部には、札幌市と旭川市を結ぶ国道12号とJR函館本線が縦貫しています。道央自動車道へは砂川SAスマートインターチェンジで結ばれており、高速道路から直接出入りのできる砂川ハイウェイオアシス館もあります。



### 3 | 日本一長い直線道路

札幌市中央区から旭川市までおよそ137kmを南北に結ぶ国道12号ですが、その途中にある美唄市光珠内から滝川市にいたるまでの29.2kmが日本一長い直線区間(2017年6月現在)。砂川市は、その間に位置しています。

### 世帯数と人口

◆世帯数: 8,987世帯  
◆人口(合計): 17,462人  
男性: 8,094人 女性: 9,368人  
(2017年8月現在)

